

「ゆめぴか通信」は、地域で働く看護職に向けて、鹿児島県看護協会保健師職能委員が作成し、情報発信する機関誌です。

平成 30 年度、第 1 回目の保健師研修会を開催しました！

「保健師による地域包括ケアの推進」

～地域の力を知る、つなぐ、動かす～

平成 30 年 6 月 29 日（金）看護研修会館 3 階 大研修室にて開催 参加者 45 名

報告 保健師職能委員会活動報告 保健師職能委員長 西原 洋子

講演「地域とともに生きるを支援 “たんがく村を育てる会” の挑戦」

講師：NPO 法人 たんがく 理事長 樋口千恵子氏



・行政保健師として 30 年間勤務。行政の最大の使命は「住民の命を守ること」。出会った方皆に名刺を渡し、色んな方との出会いを大切にしてきた。

・平成 22 年久留米市の保健師を早期退職し、たんがくを設立。日本財団や地域雇用開発の助成金、地域の方々の多くの支援を得て、お年寄りから子供まで、地域の方々と楽しく語り合う、地域密着型のサービスを展開してきた。「住み慣れた地域で暮らせる」との住民の声。

・ホームホスピスは、制度にはないが、将来的に必要性や概念が受け入れられる時がくる。「自分らしく生きるための」環境の提供や支援が行える。「地域を耕す」事も大事。お互いの存在を認めあえる関係性も築ける。

・平成 27 年「たんがく村を育てる会」立ち上がり、学びの館を設立。各種講座や、健康相談等も実施。生産活動として「じじばば食堂」の開設も目指している。

・おせっかい（向こう三軒両隣）文化、生き抜く文化（看取り）の成就。「あんたがおって良かった」「ここで歳がとれる」と言われる地域を目指していく。

シンポジウム（地域の力を知る、つなぐ、動かす）

びっぐすまいる訪問看護ステーション 柳田様

小児から高齢者まで、依頼があったケースは断らない。小児の事例は成長を見守る、難病の事例は日常生活を工夫し、生活を支える。関係者カンファレンスも必要だと思ったら実施。「予防と予測」が大事。「どこで過ごし、どのような医療を受けるか」、患者や家族の意思決定を尊重し、それぞれの人生を支えていきたい。

今給黎総合病院病床管理部 NICU
退院支援専従看護師 永山様

未熟児や虐待のケースを通して、保健師や訪問看護師と連携。退院前訪問指導を H28.4 月から実施し、家庭環境等の課題把握や、受け入れ調整が容易になった。家族が地域で安心して子育てできることを目指している。今後、地域との連携を強化するため、関係機関で語り合うケア・カフェを開催予定。

昨年度まで、鹿児島市保健所の精神保健の担当で、自殺対策計画の策定に従事した。計画策定にむけ、庁内事業の棚卸し作業を行った。足を運んで事業の聞き取りを行い、知らなかった他部署（雇用、地域創生等）との顔の見える関係ができ、生きる支援の関連施策を整理できた。我がこと、丸ごとを支える、生きごごちのいい、命支える地域づくりを支援していきたい。

昨年度まで、始良保健所で3年間難病を担当。難病患者が住み慣れた地域で安心して在宅生活ができる地域体制の整備を行った。関係機関と調整し、入院した意思疎通が困難なALS患者に、ホームヘルパーを病院に派遣し、医師等とのコミュニケーションを仲介する事業の導入を行い、本人、家族に喜ばれた。施策化するために、あきらめずに情報収集を行い、資料作成を行った。

グループワーク

テーマ「地域包括ケアシステムに保健師としてどうつながるか」



6グループに分かれて、話し合いを行いました。

- よろず相談ができるのが保健師。家族全体の相談支援ができる。
- 保健師は誰にでも声をかけられる。どこに繋がればいいのか分かっている。繋がりが顔の見える関係ができ、動かすことに繋がる。
- 多くのネットワークを使い、生の情報を知れるのが保健師。自宅に訪問でき、家族全体に関われる。
- しかけを作り黒子になり、住民の力を信じ待つ力も必要。
- 地域の課題を知り、政策を展開できるのが保健師の強み。
- 本人の望みに寄り添い、自己決定を支援する。地域で支えるサポート体制を構築する。
- 保健師は制度の活用方法が分かっている。個々の支援だけでは間に合わない。地域全体への支援も必要であり、保健師間で情報共有することも大事。

「よろず相談ができるのが保健師」「住民とのつながり」「住民の力を引き出す」等がキーワード！



★4職能合同研修会のお知らせ 平成30年8月25日(土) 13:00~16:30

「災害看護の基本的知識(仮) ~災害時に求められる災害支援活動~」

講師: 石井 美恵子氏 (国際医療福祉大学大学院災害看護領域教授)

★第2回保健師研修会のお知らせ 平成30年9月21日(金)

「(仮) キャリア形成について考える」

講師: 村嶋 幸代氏 (大分県立看護科学大学理事長・学長)

